

第5学年 社会科学学習指導案

令和元年 11 月 29 日（金）

松江市立島根小学校

担任

司書教諭

学校司書

1 単元名 わたしたちの生活と工業生産「これからの工業生産とわたしたち」

2 単元目標

- 日本の工業の発展について関心をもち、意欲的に調べ、日本の工業生産を発展させていくためには様々な課題の解決が必要であり、私たち国民の努力が大切であることを理解する。
- 日本の工業生産の現状と課題から学習問題を見だし、統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して調べたことを作品にまとめるとともに、工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

3 単元の評価基準

ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	イ 社会的な 思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用の技能	エ 社会的事象について の知識・理解
①日本の工業生産の発展に関心をもち、日本の工業生産の現状や課題について意欲的に調べようとしている。 ②日本の工業生産の発展に関心をもち、これからの工業生産の発展や持続可能な社会の実現について考えようとしている。	①日本の工業生産の現状と課題から、工業生産の発展について学習問題や学習計画を考え表現している。 ②工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることについて、思考・判断したことを適切に表現している。	①統計、写真、地図帳、地球儀などの資料を活用して日本の工業生産の現状や課題について必要な情報を集め、読み取っている。	①日本の工業生産の現状と課題について理解している。 ②日本の工業生産を発展させていくには輸入と輸出のバランスをとる、持続可能な社会を目指すための取組を進めるなど、様々な課題の解決が必要であることを理解している。

4 本単元にかかわる情報リテラシー（松江市の学び方指導体系表より）

C：学習計画を立てる

D：課題に応じて資料や情報を集める（情報の収集）

F：年鑑を使う（図鑑、辞典、事典、統計資料等の利用）

K：情報カードを活用する

M：資料を活用して説明する

5 基盤

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の第5学年の目標と内容に基づいて設定されたものである。

目標	(2) 我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにし、我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。
内容	(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。 ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸などの働き

本小単元では、これからの日本の工業生産を発展させるためには持続可能な社会を目指すなど、様々な課題の解決が必要であり、私たち国民の努力が大切であることを考えることができるようにすることがねらいである。ここでは、日本の工業生産が抱える諸課題のうち、児童がこれまで学習してきたことをもとにして考えられるよう、環境問題やエネルギー問題、貿易の問題を中心に扱う。工業生産の現状と課題を把握し、その課題をこれからどのように解決していくことができるか、そのためにどのようなことが大切になってくるのかについて考えることで、今後の我が国の工業生産について、多面的、多角的に考えようとする意欲や態度を養うことができると考える。また、学習したことをもとに「夢の工業製品」を考えることで、日本の工業生産の発展に主体的に関わろうとする意識を育てることができる。

また、第5学年 目標(3)「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことを表現する力を育てるようにする。」は第5学年の内容全体にかかわる能力に関する目標として示されている。本小単元においても、自分たちの身近にある工業生産の問題や解決策について考え、様々な資料を活用して調べ、読み取ったことを表現する活動を通して社会的事象についての思考力や表現力を育てることができると考える。

(2) 児童観

<削除>

(3) 指導観

指導にあたっては、本校の研究仮説①「児童の興味関心を生かした学習課題を設定したり、課題解決に向けて何をすればよいか課題解決の方法の指導を工夫したりすれば、問いをもち、自ら解決しようとする子どもを育てることができるだろう。」、②「学び方や計画的・系統的な情報活用リテラシーの習得を意識した指導を行えば、課題を自ら解決しようとする子どもを育てることができるであろう。」をもとに、以下のような指導を工夫したい。

①学習の見通しをもたせる工夫

大単元「わたしたちの生活と工業生産」の導入において、「これからの日本の工業生産に大切なことを考えて、それを実現させるための『夢の工業製品』を考えよう」という単元のゴールを提示する。その課題を解決するために日本の工業の特色と課題を学習の中で探っていくことで、単元を通して必要感や目的意識をもち続けて学習に取り組むことができると考える。

②学校図書館の活用

児童が学校図書館を活用することで、「図書館の資料を使えば知らないことがわかる。」「調べたか

ったことが見つけられる。」ということに気付けるようにしていく。また、工業については、主に日本の工業の特色（特徴的な工業製品や伝統工芸、貿易）や課題（環境問題、エネルギー問題）について興味・関心をもたせるために、学校司書によるブックトークを行う。主に6類を中心に、子どもの読解力の実態に合わせて選書し、児童に紹介する。紹介した本はいつでも手に取れるように教室に置いておき、朝読書の時間などにも読めるようにし、児童の興味・関心を高めたい。

本時においては、「夢の工業製品」を作るにあたり、日本の工業の課題を解決するにはどのような方法があるかを調べるため、図書資料を活用する。そのため、本時までに使用した図書資料だけでなく、工業製品に関する資料も準備し、具体的にイメージしやすくする。また、児童が必要としている情報がどの図書資料にあるのか、学校司書がアドバイスをしながら調べられるようにする。

③情報カードとしての付箋の活用

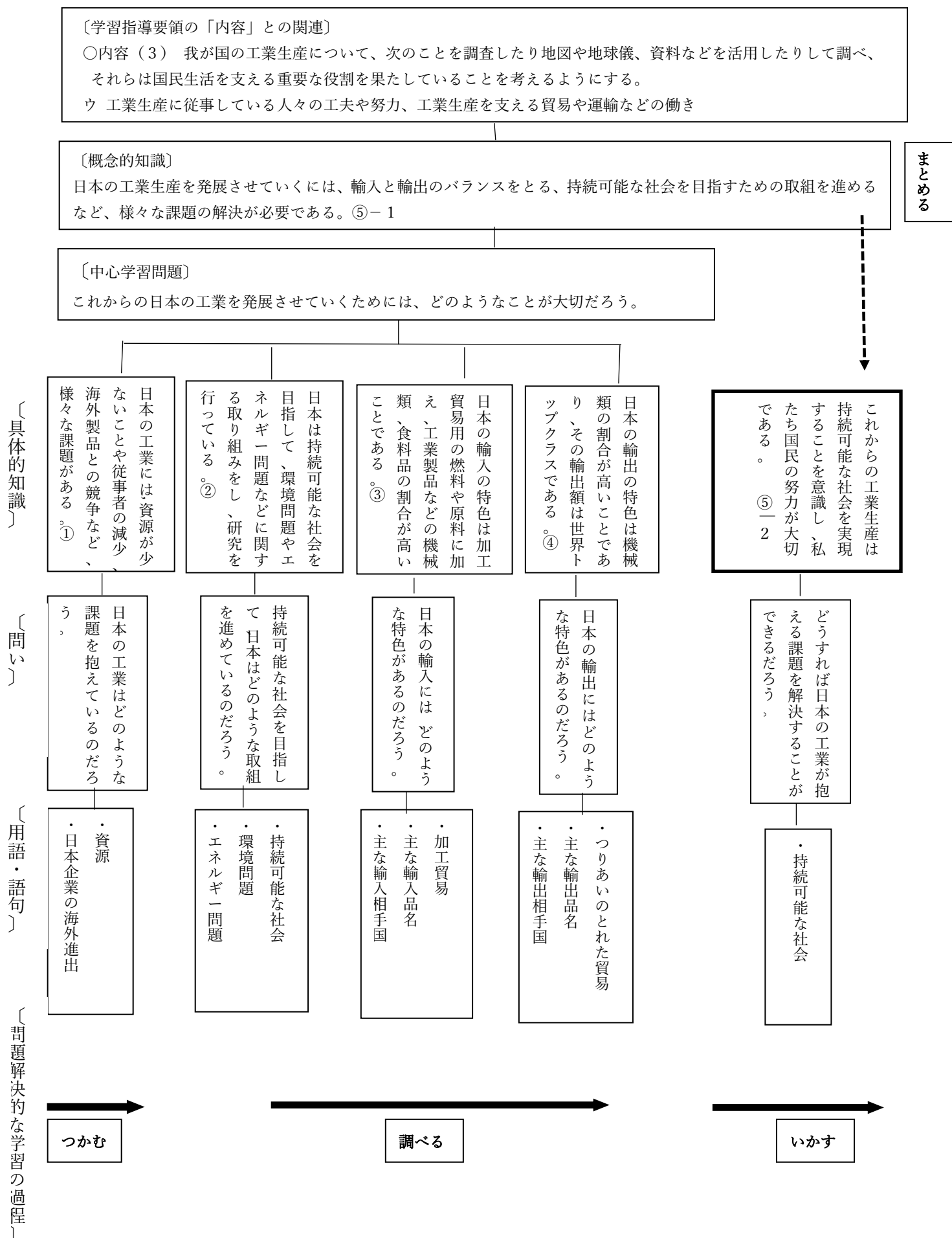
「夢の工業製品」を考えるのに必要な「これからの日本の工業に大切なこと」に関する情報を収集するために、付箋を活用する。図書資料で調べて見つけた日本の工業の特色と課題を、それぞれ赤と青の付箋に書いて、調べた図書資料に貼っておく。またそれまでの学習で学んだ日本の工業の特色と課題も付箋に書き溜めているので、それらの付箋を使ってコンセプトマップを作成し、「これからの工業に大切なこと」を考えられるようにする。資料に書いてある内容を要約することが難しい児童が多いため、書く量が限られている付箋を使うことで短くまとめられるようにする。

④思考ツールの活用

社会的な思考を必要とする場面において、自分の考えや表現を明確にするために思考ツールを活用する。本時においては、「夢の工業製品」を考える時に、課題を解決するために、どのような工業製品にするかを考える場面で、「クラゲチャート」をもとに作成したワークシートを使用する。これは、前小単元の自動車工業の学習において、自動車工業のキャッチコピーを考える際に、児童の中から提案されたものである。いくつかの課題を列挙し、それぞれの解決法を考えたとえで、それを取り入れた工業製品を考えることができるのではないかと考える。

また、課題の解決法を調べる場面では「KWH」を使用する。K（知っていること）W（知りたいこと）H（どのようにして調べるか）を整理して考えることができ、目的意識をもって資料を選ぶことができるのではないかと考える。

(4) 知識と問いの構造図



6 単元指導計画及び評価規準

	時	○学習活動 ・ 学習内容	評価規準 【評価方法】
つかむ	1	○これからの日本の工業の発展について関心をもち、課題について話し合い、学習問題を見いだす。 ・ 人と環境にやさしいものづくり ・ エネルギーの確保 ・ 製造業で働く人の現状 ・ 国際競争力の低下 ・ 海外進出する日本企業の増加	日本の工業の現状や課題から、工業生産の発展について学習問題を見いだしている。 (思考・判断・表現) 【ワークシート、発言】
調べる	2	○持続可能な社会を目指して、日本はどのような取組をしているのか調べ、話し合う。 ・ 環境問題に関する取組 ・ エネルギー問題に関する取組	持続可能な社会をめざして日本がどのような取組をしているか各種資料を通して調べ、必要な情報を読み取っている。(技能) 【発言、行動の観察】
	3	○日本の輸入の特色について調べ、話し合う。 ・ 年鑑の特徴、使い方 ・ 加工貿易に使う燃料や原料のほとんどを輸入に頼っている。 ・ 食料もたくさん輸入している。 ・ 輸入品には変化が見られ、今は工業製品も多く輸入されている。 ・ 国内の産業を守るために輸入品に関税をかけている。	日本の輸入の現状や課題について必要な情報を読み取っている。(技能) 【行動の観察】 日本の輸入の特色は燃料や原料、工業製品などの機械類、食料品の割合が高いことであることを理解している。 (知識) 【発言、行動の観察】
	4	○日本の輸出の特色について調べ、話し合う。 ・ 高い技術に支えられた機械製品が中心。 ・ 輸出品には変化が見られ、以前は繊維品の割合が高かったが現在は機械類が高い。	日本の輸出の特色について各種資料を通して調べ、必要な情報を読み取っている。 (技能) 【発言、行動の観察】
まとめる	5	○これからの工業生産について調べたことを振り返り、これからの工業生産にとって大切なことについて考え、発表し合う。 ・ 製造業で働く人が減っている。 ・ 持続可能な社会を目指すために環境問題やエネルギー問題に関する取組を進めている。 ・ 新しい発想の製品をつくる。 ・ 輸入と輸出のバランスをとる。	これからも工業生産を発展させるためには、持続可能な社会の実現が大切であることを考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 【ワークシート、発言、行動の観察】
いかす	6・7(本時), 8	○日本の工業が抱える課題を解決する工業製品を考え、絵などで表現し、発表し合う。 ・ 持続可能な社会を実現するための工業製品の創造	課題を解決する方策を夢の工業製品に表現している。 (思考・判断・表現) 【ワークシート、発言行動の観察】

7 本時の学習

(1) 本時の目標

日本の工業が抱える課題を解決する方法を調べ、それらを実現する「夢の工業製品」を考えることができる。

(2) 本時に関わる情報リテラシー

D：課題に応じて資料や情報を集める

M：資料を活用して説明する

(3) 本時の展開（7/8）

過程	学習活動	教師の支援（T1：担任、T2 司書教諭、S:学校司書） ☆評価【評価方法】
つかむ	1. 前時の学習内容を振り返る。 ・どのような課題を解決したいか。 ・解決する方法をどうやって調べるか。 2. 本時の学習課題を確認する。	T1 前時に学習した内容を提示して、想起しやすくする。 T1 本時のめあてと学習の流れを提示して確認し、見通しをもって活動できるようにする。
調べる・考える	日本の工業が抱える課題を解決する『夢の工業製品』を考えよう。 3. 課題を解決するために調べた情報をまとめる。 ・ワークシート②	T1 拡大図を用いて、ワークシートの使い方や情報カードに書いた内容をどのように工業製品に活用するかを例示する。 T2 ワークシートが正しく使えるよう支援する。 S 情報カードからワークシートにまとめる方法について支援する。
	4. 集めた情報をもとに『夢の工業製品』を考える。 ・ワークシート③	T1、T2 課題をどのように工業製品に組み入れるか悩んでいる児童にアドバイスをする。 S 情報が不足している児童に、資料を勧めたり、情報の探し方のアドバイスをしたりする。 ☆日本の工業が抱える課題を解決するための機能を組み入れた工業製品を考えている。 【ワークシート、行動の観察】
まとめる	5. 学習の振り返りをする。	T1 めあてにそって振り返りができるように、ふり返りの観点を示す。
	6. 次時の学習を確認する	T1 本時で考えた工業製品を学級のみんなに知らせたいという意欲を高める。

(4) 本時の評価

評価の観点	十分満足とされると 児童の姿	概ね満足とされる 児童の姿	支援を必要とする 児童への手立て
社会的な思考・判断 ・表現	日本の工業が抱える課題の解決策を多面的にとらえ、課題に沿った機能を組み入れた工業製品を考えている。	日本の工業が抱える課題を解決するための機能を組み入れた工業製品を考えている。	課題を解決するために必要な情報をまとめ、課題に沿った機能を組み入れられるよう支援する。

(5) 協議の視点

これまでの学習から見えてきた課題を解決する工業製品を考えるために、ワークシートを使用したことは有効であったか。

8 研究協議の概要

参加者	校内 10名、校外 27名 計 37名
授業及び研究協議の概要	(授業の概要) ・これまでの学習をもとに、日本の工業が抱える課題を解決する方法を調べ、それらを実現する「夢の工業製品」を考えた。 (研究協議の概要) ・社会科は、調べるために図書館を頻繁に活用する教科であるが、フィールドワークとのバランスも大事。 ・本単元は大単元であり、子どもたちの学びのゴールの設定はどうあるべきか。社会科としての概念的な知識の習得もねらうが、島根町という地域の身近なところから課題を見つけることも、子どもたち自身の課題に向かう意欲を高め主体的な姿に迫れるのではないか。 ・思考ツールを授業に合わせて改変することもよいし、関連する資料や書籍を教室内に常置することも子どもたちの意欲付けになる。 ・情報カードは全学年であらゆる教科で使われてよい。ふせんでもよいが、知識や情報を蓄えたり思考したことを書き溜めたりするにはカードがよい。また情報がよくわからなかったら書籍にもどるための手立てとなる。 ・新学習指導要領では、課題（問い）を吟味していく過程が大切にされ、学校図書館がさらに活用されることになる。

<資料>

ワークシート①

これからの日本の工業の課題を解決する方法を調べよう！

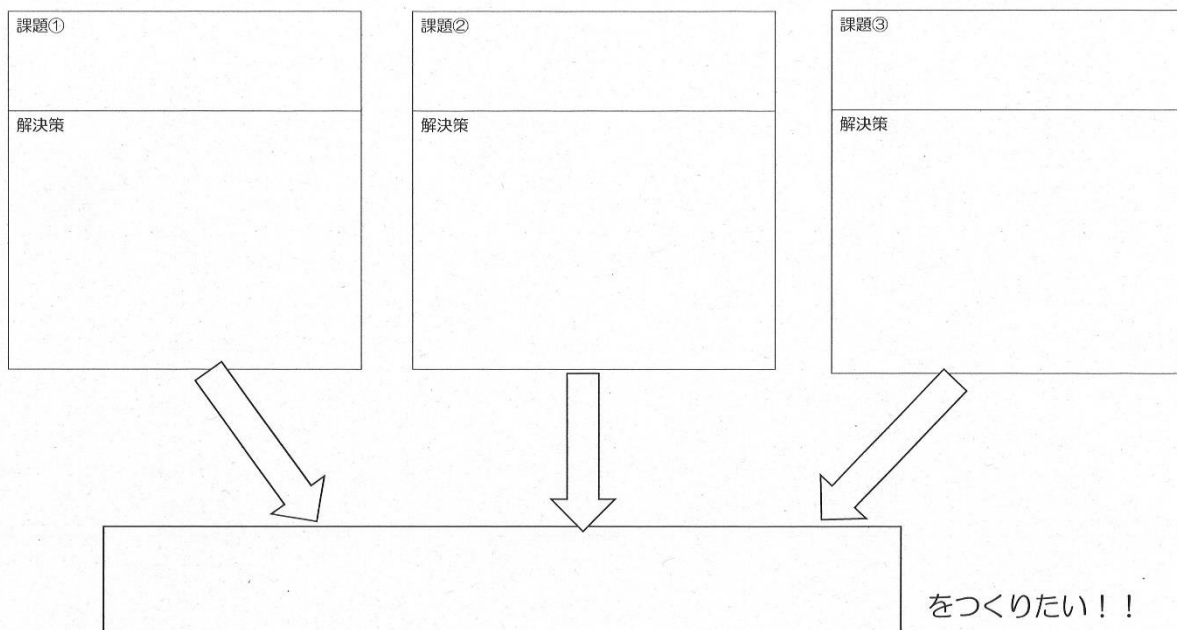
5年()

	K (知っていること)	W (知りたいこと)	H (どのように調べるか)
課題①について			
課題②について			
課題③について			

ワークシート②

5年 ()

リ



ワークシート③

※児童用は B4 版

夢の工業製品を考えよう

5 年()

をつくりたい！！

工業製品の絵

説明

前時で児童が設定した課題

W（調べたいこと）に書いた内容

1 班

課題①安全を守る

課題②環境問題（空気をきれいに）

課題③伝統的な技術を守る

①安全のための機能はどんなものがあるか。

②なぜ地球温暖化につながるのか。

二酸化炭素が出ない方法、消す方法

③なぜ受けつぐ人がいないのか。

どんな技術があるのか。

2 班

課題①空気の問題

課題②ごみを減らす

課題③資源を守る

①排出ガスをどうやって止めるのか。

どういう工夫をすればよいのか。

②バイオマスエネルギーはどうやって発電するのか。

どういう効果があるのか。

③いろいろな発電方法とそのしくみ

3 班

課題①資源を守る（リサイクル）

課題②ガソリンの消費

課題③オンリーワンの技術を守る

①どこの部品がどんなものにリサイクルされるか。

②ガソリンの代わりになるもの

③どんな技術があるのか。

4 班

課題①二酸化炭素を減らす

課題②リサイクルしやすい車を作る

課題③交通事故を減らす

①環境にやさしい自動車のしくみ

二酸化炭素はどうやったら減らせるか。

②車のどこをリサイクルできるのか。

どうやってリサイクルするのか。

③安全性の高い車のしくみ

どんなところがていねいにつくられているか。

事故の原因